

## 平成28年度 第1回 岡山県総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年4月27日(水)〈開会：13時10分、閉会：13時50分〉

2 場 所 県庁3階第1会議室

3 出席者 知 事 伊原木 隆太  
教育長 竹井 千庫  
教育委員 田野 美佐 梶谷 俊介 中島 義雄  
松田 欣也 上地 玲子

### 4 協議事項に係る出席者の発言

#### 【知事】

これより、平成28年度第1回の総合教育会議を開催する。

本日のテーマは、「グローバル教育の推進について」である。本県では、来月、G7倉敷教育大臣会合が開催されることになっている。グローバル社会における教育の在り方を考える絶好の機会であり、4月30日には、「世界を変える岡山から育つグローバル・リーダー」をテーマにシンポジウムを開催するなど、グローバル教育への関心を高めていくこととしている。今回の総合教育会議でも、そのことについて議論をしていきたい。

#### 【事務局】

グローバル教育の推進についての資料によりご説明する。

1枚目は、現状であるが、我が国の国際的な存在感は、GDPの推移を見ると低下している状況にある。

そのため、グローバル人材の育成が急務であるが、その大きな手立てである、留学者数は、外国人留学生の受け入れは横ばい、日本人海外留学生は減少傾向で推移している。

次に岡山県の現状についてである。高校生の留学意識としては、「いつか外国へ留学したいと思いますか?」という問いに対して、「留学したい」との回答の割合は、全国比マイナス3.3%となっている。また、生徒の英語力については、全国平均と同程度、教員の英語力については、全国平均と比較してやや低いという状況である。

2枚目は、先進事例を示しており、最初に東京都立国際高校の国際バカロレアコースについて取りまとめをしている。

次に、スーパーグローバルハイスクール、スーパーサイエンスハイスクールについて、県内の状況を取りまとめている。

そして、神奈川県立横浜国際高校の留学生を出す側、受ける側としての充実した取組を取りまとめている。

最後に、ノートルダム清心女子大学附属小学校の国際コースについての事例を記載している。

3枚目は、本県の目指す方向性を記載しており、①子どもたちの英語力の向上では、高校生の留学促進、特定の学校でのオールイングリッシュの授業の推進、外国人講師、ALT（外国語指導助手）等の増員、幼少期から英語に触れる教育の推進等、②グローバル人材育成のための学校の検討では、国際バカロレア認定校等について整理している。

ご説明は以上である。

#### 【知事】

昨年度策定した岡山県教育大綱でも、グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、国際理解の精神を備えた人材育成を目指し、国際化に対応した教育を推進することとしたところである。

教育委員の皆様は、今後こういった取組に力を入れていくべきと感じておられるか、忌憚ない御意見をお聞かせいただきたい。

#### 【教育委員】

グローバル教育はこれから大事だと思う。幼少期から英語に慣れさせることが大事。教育は、皆同じように受ける権利があるので、幼稚園、小学校、中学校において、英語の授業数をもう少し増やし、本物に触れさせるということがいいのではないか。

#### 【教育委員】

グローバル教育は、幼少期からスタートした方がハードルは下がるのではないかと、私自身の経験からもそう感じる。

ただ、それだけではなく、必要なのは高いコミュニケーション能力だと思う。また、違う文化を受け入れる柔軟な姿勢、リーダーシップなどがあって初めてグローバルに活躍できる人材だと思う。

#### 【教育委員】

私も、これからはグローバル教育が進んでいないと生き残っていけないのではないかとというくらい大事なものだと思っている。

私たちが日本語を話せるのは、幼少期から日本語の環境にあるからであって、同様に、幼少期から英語の環境にあれば、自然に英語を身に付けていくのではないかとと思っている。先ほど、文化を受け入れる柔軟な姿勢などのお話があったが、それは様々な国の方と接していかないとなかなか学び取れないので、そのような機会を幼少期からつくっていただきたい。

私事だが、娘が、英語が好きということで、就学前にインターナショナルスクールに行かせた。そこでは、9時から15時までずっと英語だけで過ごし、英語を教えるというよりは、英語で勉強したり遊んだりという過ごし方なので、あっという間に自然に身に付けてしまった。

ただ、小学校に行くと、9時から15時まで英語だけで過ごすという環境ではなく、すぐに英語を忘れてしまったので、本人の強い希望もあり、途中から

イマージョンコースのある小学校に転校した。そこでは、ネイティブの先生と日本人の先生の2人担任制で、国語と書写以外は全部英語で授業をしているので、英語力を維持・向上できた。やはり、日ごろから英語に接する機会が多い方が、より正しい英語を覚え、より自然に身に付けられる。私たちが一生懸命読んで書いて聞いて覚えるような努力をせずに、あっという間に覚えてしまう。

#### 【教育委員】

先ほどの説明で外国人留学生の受け入れは、横ばいだと言われた。現在、多くの外国人が日本に来ているが、子どもたちの教育において、環境整備をしてあげないといけないと思う。

先ほどのお話のように、コミュニケーションがしっかり取れ、互いの情報を交換できることが求められてきているのではないかと感じる。本当に推進しないといけないと思う。

日本人を海外に出して、経験させないといけないと思うが、出すことばかりでなく、こうして多くの外国人が日本に来ていることに対して、県内の教育が連動するような仕組みも考えていけたら良いのではないかな。

#### 【教育委員】

一番大事なのは外国人と触れ合うことなのかなと思う。せっかく外国人が日本に来るなら、そういう方と積極的に交流できる場があり、関心を持てば学びたいということになる。私はそうであった。特に幼少期は、英語を勉強するというより、英語に触れたり、一緒に遊んだりする場があればいい。やはり、それぞれの生き方の背景が違うので、行ってみたいと思えば留学するようになるだろうし、そう思わなければなかなか難しい。大事なのは、そういう場をどれだけ作ることができるかということだと思う。

#### 【教育長】

私は、教育行政の立場で話を聞いていて、すべての人への英語教育の部分と、これから世界で活躍していくために必要な英語能力育成の部分の両面があると思う。

先ほどの資料の中で、全国的な先進事例があったが、これはどちらかと言うと、後者の観点での取組である。国際バカロレアは素晴らしいが、そこまで特化していくのは、本県の場合、なかなか厳しいのかなと思う。スーパーグローバルハイスクールやスーパーサイエンスハイスクールを一つの起爆剤としながら、横浜国際高校の手法をモデルとしては面白いのではないかな。大学と連携しながら、ネイティブの教員を少し増やし、留学生の受け入れと同時に姉妹校交流で留学生を派遣していくという要素がスーパーグローバルハイスクールの中に入っていきなのが、高等学校では一つのモデルとして研究に値すると思う。

あるいは、先ほどのお話のように、就学前から小中学校へどのようにつなぐのかという課題もあるので、今、特区で総社市などがやっているような研究も生かしながら、一貫してリーダーシップがとれる学校に英語も加味していくと

いった研究的なものを、県立の中高一貫でやっていくことも手法として考えられる。

また、重要なのは教員の指導力である。平成 32 年から小学 5、6 年生において英語が教科化されるので、基盤の部分でどうするかが課題である。

この前、韓国の慶尚南道に行ってきたが、現地では 10 年ほど前から大学の要請で、小学校で英会話をやっている。そういう教員養成をして、10 年前から小学校教員の採用試験に英語を入れている。

実際、英語の授業を見に行ったが、若い英語の先生と A L T が一緒になり、ほとんど英語で授業をしていた。そこは、まだ小学 5 年生であり、まだ英語を普通に話せるところまではいっていなかったようだが、教員養成という観点で言うと、日本も大学と連携し、小学校英語の教科化に対応できる力を付けるといふ国家レベルでの取組も併せてやっていかないと、制度だけが前に行ってもいけないと思う。

### 【知事】

私も、すべての人への対策とリーダーを目指す人への対策の議論を一緒にするのは良くないと思う。

また、グローバル教育というのが、何か特別なことではなく、「読み・書き・そろばん」に匹敵するものであると、私は 100% 確信を持っている。

教育したいことはたくさんあるが、その中で、何を教えるのかというときに、まず「読み・書き・そろばん」が大事だというのは、多くの人が同意してくれると思うが、その次はいろいろあるだろう。

日本人として日本語を聞いて話すことはできるが、「読み・書き」は教えないと自然には身に付かない。英語も同様である。

これからは英語の電話や外国人の来客に対して何を言っているのか分からないとなると、そういう人が日本の企業でも採用してもらえるのだろうか。日本企業でも日本人とアジア諸国の人とを区別せず採用していくことも予想される。特に外国の企業は、わざわざ日本人のために特別な環境を用意しない。

ヨーロッパ、アメリカでは当然として、アジアでも日本人が活躍できない。下手をすると日本企業でも、素直な中堅社員としては採用するが、リーダーとしては採りづらいということになれば、本当に寂しいことになる。

私は、英語というのは、リーダーにとっては必ず必要であり、中堅社員にとっても、怖くないという程度までは「読み・書き・そろばん」なのかなという気はする。

### 【教育委員】

私はインターネットをよく見るが、日本語で書かれているホームページは、実は一部である。多くは英語で書かれているので、最低限、読めないといけないし、情報も入ってこない。リーダーとして何かをしようと思ったときには、やはり、「読み・書き・そろばん」のレベルで英語が理解できないと難しいと思う。

先ほど、国際バカロレアはちょっと難しいかもしれないという話があったが、外国人が日本に来るときに、国際バカロレアの学校の有無をまずチェックするそうだ。子どもが生まれても安心なので国際バカロレアの学校がある県には行くが、ない県には初めから行かないという話をよく聞く。岡山には国際バカロレアの学校が1校もないと知ると、神戸に行ってしまうようだ。やはり、1校だけでもあるとイメージが随分違うと思う。

**【知事】**

確かに岡山に1校ある、なしは大きいかもしれない。

**【教育委員】**

先ほどの娘が行っている学校は、国際バカロレアの前提となるPYP（初等教育プログラム）の認定を受けており、プログラムが今年うまくできたら国際バカロレアに格上げになる。PYPは、国際バカロレアもそうだが、日本語のプログラムでもいい。英語と日本語の両方を取ることができるが、県内に1校でもあれば、海外から見ると、同等に話ができる県だと思ってもらえる。その点で、私はゼロではなく、せめて1校ぐらいは作ってはいかがかと思う。

**【知事】**

国際バカロレアがなくても支障はないのではと少し軽視していたが、外国人がそこを見ているのなら、事情は随分違ってくる。

**【教育委員】**

家族連れは家族を大事にする。家族連れで引っ越しをするときに、子どもが行ける学校を一番に見る。

**【知事】**

少し考えましょう。

**【教育長】**

しかし、ハードルが高い。

**【教育委員】**

しかし、取得している学校からすると、内容は文部科学省が言っているアクティブ・ラーニングである。ぜひ見学に行ってみられたらいいと思うが、きちんとファイリングできるシステムを組めば、そんなにハードルは高くない。

国際バカロレアを取得している学校の中には、国際バカロレアを取得するためのノウハウを持っていて、様々な学校を指導して国際バカロレアを取らせているところもある。そういう学校の援助をもらい、1校でいいと思うので作ってはどうか。

**【知事】**

国際バカロレアが1校もないからニーズが見えてないという可能性も十分あり、アンテナを立てて初めて受信できるということもあるので、とりあえず、最低限やってみるといえるのは一つの手かもしれない。この教育会議は、「やる、やらない」を決める場ではないが、国際バカロレアが大事というのは、初めて分かった。

**【教育長】**

文部科学省が、国際バカロレア認定校全国 200 校を目指して研究会のようなものを実施しており、本県からも担当者が参加し、研究はしている。ただ、外国人の視点は我々に全然なかった。

**【教育委員】**

ぜひいろいろ視察して、情報を集め、検討していただきたい。

**【教育長】**

スーパーグローバルハイスクールの研究校もあるので、その一つの発展形として研究してみて、メリットがあるかないか見極めたい。

**【教育委員】**

国際バカロレアの内容自体は、アクティブ・ラーニングを少しきれいにしたような感じである。

授業方法に関して、ALTでの外国人の導入もいいが、スカイプ等を用いて外国人に算数などの授業をしてもらい、日本人の教員が補助をするなどにより、費用を抑えつつ、たくさんの子どもが授業を受けることができると思うので、ネット等でやってもいいのではないか。

また、学校の空き教室があれば、インターナショナルスクールを設置し、子どもたちが日ごろから外国人と交流し、遊びの中で英語を学ぶという環境もいいのでは。

既に実施している学校もあるそうだが、とてもいい交流ができていて、子どもたちが自然に学んでいるので、いい環境かなと思う。

**【教育委員】**

大学との連携について、先般、入学前のスーパーグローバルハイスクールの関係生徒を集めて、岡山大学で行われた講義を見てきたのだが、基本的に英語でやっていた。岡山県だけでなく周辺各県の生徒も含めて、将来理系の学部を目指し、ドクターを取ってみたいという中高生を集めてやっている。

英語に対するハードルが下がっており、専門教育や英語教育を受けているだけであれだけ発表できることに感心した。やはり大事なのは環境である。確かに、私も幼少期からやった方がいいと思うが、中学・高校でもそういう環境を与えればしっかりできると思ったので、ぜひ今の中高校生に対しても、もっといい環境を与えてもらえればと思う。

**【知事】**

例えば、英語で授業する大学がいくつか出てきているが、大学から始めると、大きなジレンマに直面しており、グローバル対応するため英語で授業をやると、議論の質がガクンと下がる。しかし、どこかで始めないといけないし、比較的時間に余裕のある小学生のときに始めれば、そんなジレンマは関係なしにちゃんとできる。

**【教育委員】**

さっき申したのは、レベルが揃っているからいいなという気もするので、レベルで揃えた教育をやると、より前に進むのではないか。

#### 【知事】

結局、一般の人とリーダーを目指す人では違うが、リーダーを目指す人は、きちんと知的なやり取りができなければならない。

日本語だってそうである。あまりに下手だと、やんわり注意したつもりがものすごい叱責になっているなど様々な例があるが、そこは、本当に何とかしてあげないといけない。

やはり、リーダーになるのであれば、中高あたりで英語教育をきちんとやっておかないと、聞いて相づちをして、ついていだけであればできるが、残念ながら引っ張るのは無理である。

「やはり、やるべきだ」という思いをいただいたが、あとは、予算の問題である。やはり、やってみないと分からないので、いくつかモデル校でやってみるのがいいのではないか。当然スーパーグローバルハイスクールも悪くなく、採択していただいてありがたいが、横浜国際高校と比較すると随分違う。国際バカロレアなのか、また別の形なのか分からないが、やるならそれくらい特化してやるべきではないか。

#### 【教育長】

ネイティブが20~30人もいるので、おそらく、この横浜国際高校の発展形が国際バカロレアになる可能性が十分あるのではないか。

中高一貫などとあったが、スーパーグローバルハイスクールとして今やっているところに、どこまで特化してやっていけるだろうか。リーダーシップも発揮できる、そういう学校を十分研究していかなければいけないと思う。

もう一つ、今、商業・工業の高校生のアジアとの付き合いというのが増えてきており、アジアへ就職するケースが出てきている。ヨーロッパでは通用しないけれどもアジアでは通用する、つまり、物おじせず、日本語的な単語を並べる程度の英語でもやっていける。そういう訓練をもっとしていかないと、外国人を見たら物おじしてしまうという事態は避けなければならない。少し裾野を広げる話にはなるが、その両面で研究を進め、本県もグローバル化に対して頑張っているぞという県にしないといけない。

#### 【知事】

これについてはやりようで、日本全体が他の国と比べて遅れていることもあって、岡山がまじめにやったら、10年経ったら日本の平均よりもいいところになることは可能だと思う。今、これだけ教育熱心にやっているし。

#### 【教育長】

問題は、我々が、直接手を出しにくい小中学校、特に小学校である。中学校は県立中をモデルにして広げていけばいいのだが。総社市が幼稚園からやっている。新しく、小学校でイマージョン教育をやろうとしている町も出てきつつ

あるということなので、そことタイアップしながら、就学前から小中高とつないで、話題のスーパーグローバルユニバーシティへと繋げていけたらと思う。

**【知事】**

そうですね。県立の中学校というのは、まず狙い目である。あとは、総社市を筆頭に岡山市、倉敷市などと協定を結べるかどうかである。いくつか学校を決めて、「ドカッと英語を頑張ります。県と一緒にやりましょう。」ということ、首長同士もしくは教育長同士で締結してもいいかもしれない。

**【教育委員】**

今話を聞いていると、学校の中で何とかしようとする、ハードルが高いのかもしれないので、幼稚園、小学校の放課後に英語で触れ合えるような場を作っていくという手もあるのかなと思う。

**【知事】**

皆が皆それを受けるとするのは、私立ならやりやすいが、公立学校で急に始めても、うちにはそんなの必要ないと嫌がることもあるかもしれない。

**【教育委員】**

県としても生涯学習として一緒にやろうという形になれば、リーダーシップも次第にとれるようになるのではないかな。

**【知事】**

今、全然できていない状況からすれば、放課後にやっただけでも随分違うと思う。意欲がない人にやらせようとしても、なかなか難しい話なので、いくつかのメニューを提示していく手法もある。

本日はどうもありがとうございました。

最後に、今後の予定などにつきまして事務局のほうから説明する。

**【事務局】**

昨年度は、岡山県教育大綱の策定などがあり、定期的開催した。次回の予定はまだ決めていないが、今年度も事務局で相談し、いいテーマを捉え、ご案内させていただきたい。

**【知事】**

それでは、平成 28 年度第 1 回総合教育会議を終了する。